

就職支援

希望の進路実現に向けて、きめ細かく指導

海事科学部では、学生一人ひとりが希望通りの進路を実現できるよう、正課・課外を通じて、総合的にキャリア形成・就職活動をサポート。全学共通のキャリアセンターだけでなく、学部独自の支援体制も充実させています。

■クラス担任教員・海事科学部事務室

クラス担任教員が、個別にきめ細かく就職指導します。学部事務室では、求人票の提供や、各種証明書の発行など、就職活動をサポートするほか、求人情報・会社情報を自由に閲覧することも可能です。



OB・OGによる説明会。学生は卒業生と交流し、有用な情報を得ることができます。

■海事科学部・研究科就職ガイダンス

学部3年生と大学院博士課程前期課程1年生を主な対象に、学部独自のさまざまな就職ガイダンスを年数回実施。企業担当者による講演や自己分析テスト、面接・筆記試験対策のほか、深江キャンパスで「合同会社説明会」を開催しています。



150社以上の企業が参加する就職ガイダンス。単独学部でこのような大規模なガイダンスを行うことは珍しく、社会からの関心・期待が高いことがわかります。

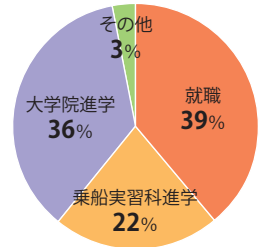
■インターンシップ

学部3年生および大学院博士課程前期課程1年生の夏季休業期間中に、多くの企業・部署と連携してインターンシップを実施。実際に仕事の現場を体験し、研究や就職へのモチベーションを高めるなど、キャリア形成に役立つプログラムです。

■就職実績

本学部で高度な専門性、幅広い教養および国際性を身に付けた人材は、海事関連企業だけでなく、産業界のさまざまな分野で活躍することが可能です。また、学生の多くは大学院海事科学研究科に進学して専門性を追求し、高い応用力と開発能力を身に付けます。このような人材に対し、数多くの企業から求人が寄せられています。

■学部卒業生の進路 (平成29年度実績)



■主な就職先

(海運)日本郵船/商船三井/川崎汽船/出光タンカー/旭タンカー/NSユニテッド海運/ケイラインローローバルグシップマネージメント/田淵海運/三菱鉱石輸送
(エネルギー・材料)三井化学/出光興産/JT(日本たばこ産業)/神戸製鋼所/カネカ
(金融・保険)みずほフィナンシャルグループ/三井住友銀行/三菱東京UFJ銀行/大和証券/
第一生命保険/日本生命保険相互会社/明治安田生命保険
(倉庫・物流)日立物流/JFE物流/山九/三井倉庫ホールディングス/三菱電機ロジスティクス/日本通運
(造船・輸送機械)三井造船/今治造船/川崎重工業/常石造船/三菱自動車工業/本田技研工業/トヨタ自動車/スズキ/ダイハツ工業/ヤンマー/ダイハツディーゼル
(一般電気・機械)三菱電機/ダイキン工業/パナソニック/NEC(日本電気)/住友重機械工業/小松製作所/新日鐵住金/寺崎電気産業
(情報・通信)富士通/NTTデータ/東洋信号通信社/時事通信社/テレビ大阪/朝日放送
(商社・卸・小売)住友商事/三菱商事/丸紅
(官公庁・その他)海技教育機構/国土交通省/海上自衛隊/兵庫県庁/神戸市役所/日本海事協会

■企業からのメッセージ

毎年、深江キャンパスでは「合同会社説明会」を開催。そこに参加した企業の人事担当者の声を集めました。多くの企業が海事科学部に注目しています。

「海事科学部卒業生には、将来の経営企画を担う幹部候補として期待しています」
(港湾運送)

「社会人になっても自ら学び続けることが求められるので、自分で考える力や習慣を学生時代に身に付けておくことが大切です」
(電子機器)

「管理職として採用するので、マネジメント能力が必要です。海事科学部で“人”と関わる経験をたくさん積んでください」
(運輸・サービス)

「海外で働くチャンスが広がっています」
(総合物流)

「海事科学部には礼儀正しい学生が多い印象。大学では専門分野をしっかりと学んでほしい」
(損害保険)

「専門知識と柔軟性、コミュニケーション能力を備えた方をぜひ採用したい」
(海運)

「どのような経験でも『こんなことが学べた』と糧にできるように、大学では心も育ててください」
(機器メーカー)

学生生活支援

学修面から生活面まで、総合的にサポート

海事科学部では、充実したキャンパスライフを送れるよう、学修面はもちろん、生活面も含めて多面的にサポート。また、学部独自の奨学金制度も設けており、意欲ある学生を経済的に支援する体制を整えています。

学生と教員の“距離が近い”指導

■クラス担任制度

各学科の2~4人の教員が、クラス担任として4年間一貫して、学生一人ひとりをサポート。学科・コース配属や研究室配属のとりまとめ、履修指導、就職指導など4年間を通してクラス担任がきめ細かく各学生をサポートします。

■基礎ゼミ(2年次ゼミ)

2年次には、教員1人につき学生2~4人を指導する「基礎ゼミ」を開講。3年次以降の専門的な研究活動に向けて、学生が早期に研究活動に触れる機会をつくるとともに、教員との距離が近い少人数教育を行っています。

■総合ゼミ(3年次ゼミ)

4年生になり研究室に配属される前に、研究室にはどのような教員がいて、どういった研究に取り組んでいるかを知るために、3年次後期に「総合ゼミ」を開講。スムーズに本格的な研究に取り組めるよう、きめ細かく指導します。

■学部独自の手厚いサポート体制

■海事科学部独自の奨学金制度

海事科学部では、独立行政法人日本学生支援機構や地方公共団体、神戸大学独自の奨学金に加え、学部独自の奨学金制度を用意。学修・生活だけでなく、進学や研究発表など、学生の幅広い活動を経済的にサポートします。

■保護者との情報交換

教職員が定期的に、保護者で構成される「学生後援会」と、学生の修学状況や進路状況などについて情報交換を実施。また、「学生後援会」は、学生の活動を経済的にサポートするなど、より良い学部運営に貢献しています。

■学生生活を支える施設が充実

■附属図書館海事科学分館

平日は20時まで、土曜日にも開館し、学生の学修をサポート。また、地域に開かれた図書館として、学外の方にも図書の貸し出しを行っています。

■アメニティスペース

休み時間などに、学生同士が交流やコミュニケーションを図れるスペースを設けています。

